第１８回スキルアップ講座

新しいつながりを作ってみよう

～社会のあり方からICTを考える～

FunahaSI.com
舟橋　正浩

今日のテーマ

情報強者って
どんな人？

情報弱者って
どんな人？

FunahaSI.com

自分の子供とその友達とそのまた友達のために

子供たちが生きる社会を築く事業を

つながりと生きるということ

情報とICTの意義

FunahaSI.com
自分の子供とその友達とそのまた友達のために
子供たちが生きる社会を築く事業を

情報とICTの意義

人と人のつながりが人として生きるのに重要

つながりがないと、人は生きていこうとしなくなる。

自殺論
1897年
デュルケーム著

・自殺は、宗教社会の統合の強さに反比例して増減する。

・自殺は、家族社会の統合の強さに反比例して増減する。

・自殺は、政治社会の統合の強さに反比例して増減する。

同書P.247

要するに社会でのつながりが強いと自殺は減る。

情報とICTの意義

つながりのある幸せってなんだろう？

過疎地域の高齢者生活を調査して不思議に思うことの一つに、生活保護基準以下の年金しかないのに、その生活はつつましいが、わりあいゆったりしているように見える世帯に出会うことである。たいていはその地域に生れ育ち、わずかな土地に菜園をつくり、収穫物を他人や親族に上げることを、無上の喜びとしている人々である。そのような人達の生活状況を調査して共通していることは、生活の根拠がどっしりとしているということである。親族以外の近隣との交流も頻繁で、予想以上にものやり取りが行なわれている。いざというときの援助や介護の体制もはっきりしているし、もしものときには地元の社会福祉施設を利用することも積極的に考えている。それに対して、このような年金生活者より収入では上回っているはずの生活保護受給高齢者の場合、社会的に孤立をし、生活の張りというものが感じられないケースが多い。彼等の多くは、高齢化してからその地域に転入し公営住宅に住んでいる。病気が生活の生気を奪っているが、それ以上に社会的ネットワークを失っていて、相談する相手も援助や介護をしてくれる人のあてもない。またもしものときに社会福祉施設を利用することにも拒否的である。(7)

生活保護受給者以下の年金生活者
近隣との交流も頻繁で、予想以上にやり取りが行われている。

年金生活者以上の生活保護受給者
社会的ネットワークを失っていて、相談する相手も援助や介護してくれる人のあてもない。

「地域づくりと自己教育活動」
筑摩書房　1992年
山田定市・鈴木敏正　編著

P.276 第三節「高齢者の生活と地域福祉」

情報とICTの意義

実は人は交換でつながっている。

この交換物とその交換方法がITの本質

社会はだんだんこうなってる

つながりの媒介物＝交換物

情報や知の交換

財やサービスとお金の交換

自分のできることと真心の交換

FunahaSI.com
自分の子供とその友達とそのまた友達のために
子供たちが生きる社会を築く事業を

情報とICTの意義

別に、地域での情報をやりとりする技術ってたくさんあったよね

回覧板
農協有線
役場の放送
井戸端会議
宴会
お茶会
etc.……

授業中のお手紙とか
プレゼントとか
花を摘んであげるとか
貰いものをおっそわけするとか

物事や想いを伝える手段は沢山あるよ

ICTったってたいしたことじゃぁない

地域の中で、お互いのことを
良く知るための手段が地域ICT

情報とICTの意義

物事や想いを伝える手段は沢山あるよ

うちのチビスケが、
安城市民活動センターで
一緒に遊んでくれたス
タッフにお礼で作った謎
のもの。
親から見ても意味不明だ
けど、そのスタッフと
チビスケの間では意思疎
通ができているし
感謝の意も伝わっている
らしい。

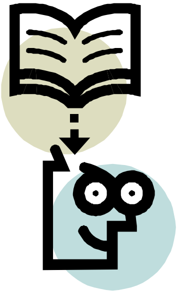
人間はどんなに小さくてもICTを使って何かを伝えるもの

今の時代のつながりって

今の時代のつながりって

人と人が直接つながるのが難しい社会

法律による規制

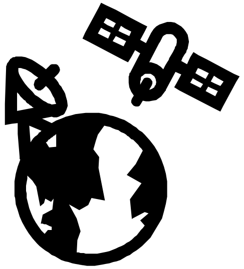


- セクハラ
- ストーカー
- 個人情報保護

教育による能力変化

- コミュニケーション手法
- 基盤認識の変化

今までのつながり方では、つながれない



つながりの問題こそ、
地域ICTの力を少し
借りて解決

社会的関係の変化

- 分業化
- 都市化

今の時代のつながりって

お金が媒介しない人のつながりは弱まっている

１９９９年
堺屋太一他著

地縁：隣近所に住んでいるという縁

職縁：同じ職場、系列会社で働くという縁

好縁：趣味などの同好でつながる縁

消費の共通性にだけつながっている、好みの消費でつながっているということが一番の特徴なのです。(同書 P.39、好縁社会の特徴)

何の共通項もない地域に地域コミュニティをつくるのは、もともと無理なのです。
同書 P.35

職縁と好縁はお金が主軸にある人のつながり。

職縁でまわった戦後の高度成長期、
好縁でまわりはじめているバブル崩壊後のオタク文化など
お金で人のつながりを作る社会に。

FunahaSI.com
自分の子供とその友達とそのまた友達のために
子供たちが生きる社会を築く事業を

今の時代のつながりって

地域共通の困りごと

つながりの回復で直せるものも

解決すれば喜ぶ
ヒトは一定数は、
いる

地域というマス／技術ありきではダメ

今の時代のつながりって

新しい地域構成員を含んだ新しい地縁社会
～金の切れ目が縁の切れ目にならない地域を～

本当に人が生きるための地縁の見直しを

真の情報

地域の中で生きる知恵とつながり

デジタルは着れない･食えない･住めない

地縁の無い世代が頼る情報ツールがたまたまインターネット

情報弱者：時間の制約･空間の制約

情報強者が情報弱者に手を差し伸べる

今の時代のつながりって

インターネット世代の情報収集

地域の情報が生きるのに必要なので探すが

１．そもそも情報として存在しない

２．玉石混交の中、選択することもできない

３．手に入った情報を判断する力が無い

この問題を解決するのが公益型の地域情報サイト

今の時代のつながりって

安城に住む色々な立場のひとが役に立つ安城の情報を！

民間非営利運営の地域ポータルサイトをつくる必要性。

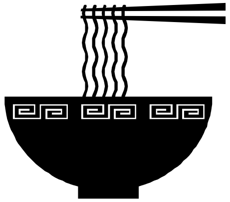
例えば

安くて美味しい
ラーメン屋紹介

行政には無理

他のラーメン屋に対して
不公平。
公平であることが重要。

一私企業では難しい



広告費を積まれたら
まずくて高いラーメン屋
を紹介せざるを得ない。

情報発信において「万人に公平」と「市民の役に立つ」は別

FunahaSI.com
自分の子供とその友達とそのまた友達のために
子供たちが生きる社会を築く事業を

今の時代のつながりって

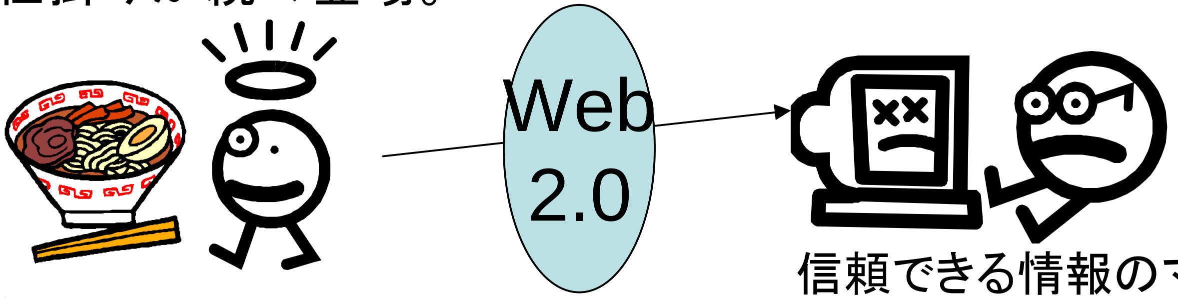
地域ポータルだけでは機能しないというトレンド

役に立つ情報は、Yah●o!や
Go●gleで検索しちゃえばいいじゃん

・地域ポータルじゃいつも同じ情報
・ホームページはつくれないけど、
いい情報を発信したいよ。

Web2.0や地域SNSの登場

地域のひとが招待制や登録制で、登録して自分たちで情報を比較的簡単に発信したり受け取ったりするインターネット上の仕掛けが続々登場。



知ってる
ひとだ！

信頼できる情報のマッチング

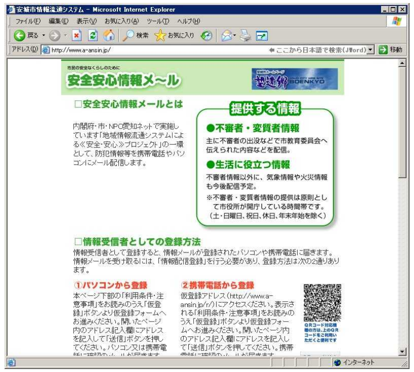
美味しいラーメン見っけ！

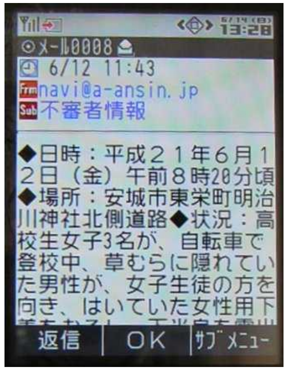
FunahaSI.com
自分の子供とその友達とそのまた友達のために
子供たちが生きる社会を築く事業を

地域の中でつながりを上手に生むツール

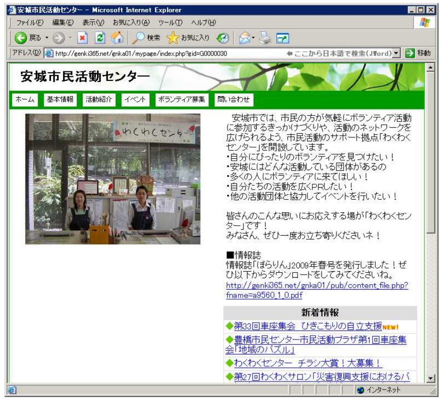
安城の地域ICTツール

・安全安心情報メール





・あんじょう市民活動情報サイト



・安城地域密着コミュニティ「あんみつ」

他にもあるとは
思うけれど、
とりあえずは
この三つを紹介

ご清聴、ありがとうございました

FunahaSI.com
自分の子供とその友達とそのまた友達のために
子供たちが生きる社会を築く事業を

フナハシドットコム
愛知事務所：愛知県安城市藤井町東長先１－９
旭川事務所：北海道旭川市豊岡4条9丁目３－８
funahasi@funahasi.com
http://funahasi.com/